

受験対策・確率②

- ① 1、2、3、4、5の数字を1つずつ記入した5枚のカードがある。このカードをよくきってから1枚ずつ2回続けて引き、引いた順に左から並べて2けたの整数をつくる。このとき、できた2けたの整数が4の倍数である確率を求めよう。
- ② トランプのスペードのカードが1枚、ハート、ダイヤのカードがそれぞれ2枚ずつある。この5枚のカードをよくきってから、2枚のカードを同時に取り出すとき、1枚はハートのカードで1枚はダイヤのカードとなる確率を求めよう。
- ③ 袋の中に、赤玉が2個、白玉が3個入っている。この袋の中から、はじめにAさんが玉を1個取り出す。取り出した玉を袋に戻さず、次にBさんが玉を1個取り出す。このとき、2人の取り出した玉が異なる色であればAさんの勝ち、同じ色であればBさんの勝ちとする。AさんとBさんのうちで勝ちやすいのはどちらか、次のア～ウから正しいものを1つ選び、それが正しいことの理由も、2人の勝ち確率をもとに書こう。ただし、どの玉が取り出されることも同様に確からしいものとする。

ア Aさん

イ Bさん

ウ 2人とも同じ